

## 小児歯科学（歯科医療の展開）

4 年次 前学期	授業科目責任者：前田 隆秀（小児歯科学） ユニット責任者：前田 隆秀（小児歯科学）
----------	--

学習の目標 (GIO)	小児歯科学は他の学科目と異にし包括歯科医療を行い、その対象は成長発育の過程にある乳児から20歳前までと広いことから多岐に亘る知識と他科との相互理解を必要とする。 心身の成長と顎顔面、歯、口腔軟組織の発育ならびに咀嚼、咬合の発達を形態、構造、機能の面から正常と異常また疾患を対比し、治療を中心とした実習へ進む上で基本的な知識を理解し説明できる。
授業担当者	前田隆秀
教科書	小児の口腔科学（前田隆秀 他、学建書院）
参考図書	第2版 小児歯科学（医歯薬出版）
実習器材	なし
評価方法 (EV)	定期試験（60%）小テスト（20%）出席状況（10%）と講義中の態度（10%）を総合的に評価する。
学生への メッセージ オフィスアワー	小児歯科というと乳幼児歯科学と誤解しないで欲しい、誕生から20歳前までの成長発育期にある人間を対象とした包括歯科医学であり、予測というロマンに満ちた学問。“小児歯科学は予測の学問である”

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
4月8日(金) 3時間 9:00～11:50	小児歯科学の定義 小児歯科学の目的 小児歯科学の歴史 小児歯科学の特異性 現在の小児歯科と将来の小児歯科  小児の発育 身体発育の特徴 精神的発達の特徴	準備学習項目：小児の発育を理解する。 ・小児歯科学とはどのような学問であり、臨床であるかを説明できる。 ・小児歯科学の発生・変遷とその社会的背景を述べ、いかに現代の小児歯科学が発展したかを日本、欧州、アメリカと比較しその重要性を理解し説明できる。 ・小児歯科学の包括歯科医療について理解させ、他科ならびに周辺医学領域の必要性を説明できる。 ・現在の小児歯科と同時に将来的な小児歯科学の発展の夢を語れる。  ・発育の原則を述べ正常と異常を対比し理解し説明できる。 ・乳児から成人前期に至る身体発育の特徴を理解し説明できる。 ・精神ならびに情緒の発達を述べ小児歯科臨床との関わりを理解し説明できる。 LS: 講義・スライド・プリント (F2-(1)-5), F2-(6)-1)) 必 -7-A-a,b,c	前田隆秀
4月15日(金) 3時間 9:00～11:50	小児歯科生理的特徴 小児の発育段階別特徴 小児の栄養  頭蓋顎顔面の発育とその評価法 口腔機能の発達 歯列・咬合の発育	準備学習項目：頭蓋顎顔面の発育を理解する。 ・小児の体温の変移、血圧、脈波、血液成分等の生理的特徴が説明できる。 ・乳幼児から学童、思春期に至る発育の変移が説明できる。 ・小児栄養の基本を述べ栄養指導に結び付けることができる。 LS: 講義・スライド・プリント  ・頭蓋の発育パターンを理解し説明できる。 ・顔面頭蓋の発育パターンを理解し説明できる。 ・無歯期から永久歯列に至る歯列咬合の発育変化を理解し説明できる。 LS: 講義・スライド・プリント (F2-(6)-1)) 必 -7-c-d,f, 総-(IV)-I-J, 総-(IV)-3-k, 総-(V)-4-A,B,C, 各 -I-6-D	前田隆秀
4月22日(金) 3時間 9:00～11:50	歯の発育と異常 歯の形成 歯の形成異常 萌出の異常 歯の形態・構造の異常 歯の色調の異常	準備学習項目：歯の発育と異常を理解する。 ・歯胚の発生から萌出までの発育過程と発育段階とその評価法を理解し説明できる。 ・歯の発育時期と形成障害とその理由を理解し説明できる。 ・歯数、形態、構造、色調の異常を供覧させ理解し説明できる。 LS: 講義・スライド・プリント (F2-(4)-1)) 必 -6-c-a,b,c, 総-(IV)-4-A,B, 総-(V)-3-F	前田隆秀

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
5月6日(金) 3時間 9:00～11:50	小児の臨床的対応 小児歯科診療におけるインフォームドコンセント 口腔領域における心身症  児童虐待 小児の齲蝕と予防	準備学習項目：歯科的対応を説明できる。 小児への歯科的対応が説明できる。 1) 診療時に必要な小児の心理 2) 歯科的対応の実際 ・歯科診療を行うにあたって知っておくべき小児の心理を理解し説明できる。 ・年齢別にみた歯科的対応を理解し説明できる。 ・診療内容からみた歯科的対応を述べ、成人の対応と異なることを理解し説明できる。 LS：講義・スライド・プリント  虐待の種類、虐待が生じる要因と口腔状態が説明できる。 1) 歯口清掃 2) 食生活指導 3) フッ化物応用法 4) 窩溝填塞法 ・年齢別からみた歯ブラシ法とデンタルフロス法を理解し説明できる。 ・齲蝕との関連が強いシヨ糖に焦点をあてた砂糖摂取量を説明できる。 ・摂取状況を中心とした栄養指導を理解し説明できる。 ・フッ化物の応用法とその効果を理解し説明できる。 ・シーラントの効果、術式、注意点をあげ、理解し説明できる。 LS：講義・スライド・プリント (F2-(6)-1)) 必-3-H,J, 必-10-J-a,b, 必-15-F-a,b,c, 総-(VIII)-2-A~E, 総-(X)-2-I, 総-(XI)-7-E, 各-I-1-D,E,F	前田隆秀
5月13日(金) 3時間 9:00～11:50	乳歯、幼若永久歯の特徴 1) 乳歯の形態と組織 2) 幼若永久歯の形態と組織  小児の齲蝕治療	準備学習項目：幼若永久歯の特徴を理解する。 ・乳歯の形態、組織、物理的特徴を述べ、易齲蝕性であることを理解し説明できる。 ・幼若永久歯の形態、組織、物理的特徴を述べ、易齲蝕性であることを理解し説明できる。 LS：講義・スライド・プリント  1) 小児の齲蝕罹患状況 2) 乳歯の齲蝕 3) 幼若永久歯の齲蝕 ・小児齲蝕の年次推移を説明できる。 ・乳歯齲蝕の特徴を説明できる。 ・幼若永久歯齲蝕の特徴を説明できる。 ・乳歯齲蝕が小児の心身に与える影響を説明できる。 LS：講義・スライド・プリント (F2-(6)-1)) 必-6-c-a, 必-14-B-a, 総-(IV)-4-C,D	前田隆秀
5月20日(金) 3時間 9:00～11:50	小児の齲蝕治療 小児の歯冠修復 小児の歯内療法	準備学習項目：小児の歯冠修復および歯内療法を理解する。 ・歯冠修復の種類とその適応症が説明できる。 ・乳歯の歯髄炎の分類が説明できる。 ・乳歯の断髄法の種類と術式が説明できる。 ・乳歯の根管治療が説明できる。 LS：講義・スライド・プリント (F2-(6)-1) 各-III-(1)-1-A~D	前田隆秀
5月27日(金) 3時間 9:00～11:50	小児の齲蝕治療 小児の歯冠修復 小児の歯内療法	準備学習項目：小児の歯内療法を理解する。 ・歯冠修復の種類とその適応症が説明できる。 ・乳歯の歯髄炎の分類が説明できる。 ・乳歯の断髄法の種類と術式が説明できる。 ・乳歯の根管治療が説明できる。 LS：講義・スライド・プリント (F2-(6)-1) 各-III-(1)-4-A 各-III-(II)-1-A~D	前田隆秀
6月3日(金) 3時間 9:00～11:50	小児の歯周疾患と軟組織疾患 特異な歯周疾患	準備学習項目：小児の歯周疾患を理解する。 ・小児の歯周組織の健康状態が認識できて説明できる。 ・不潔性歯肉炎が説明できる。 ・思春期前歯周炎が説明できる。 ・若年性歯周炎が説明できる。 ・小児期の粘膜疾患とその治療法が説明できる。 LS：講義・スライド・プリント (F2-(6)-1) 必-6-c-d, 各-III-(III)-1-A,B	清水邦彦

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
6月10日(金) 3時間 9:00～11:50	小児の顎口腔疾患 小児期の外科処置 1) 小帯の切除 2) 嚢胞の摘出	準備学習項目：小児期の外科処置について理解する。 ・小児の顎口腔疾患の種類が説明できる。 ・上唇、下唇小帯の切除術の適応と術式を理解し説明できる。 ・嚢胞の摘出とその術式を理解し説明できる。 LS：講義・スライド・プリント (F2-(6)-1) 各 -IV-(1)-1-G, 各 -IV-(1)-4-A,C	清水邦彦
6月17日(金) 3時間 9:00～11:50	小児の局所麻酔 小児の抜歯 薬物療法 1) 小児の薬物代謝 2) 小児薬用量の算出法	準備学習項目：小児期の局所麻酔および抜歯について理解する。 ・小児期における無痛の局所麻酔の操作法が説明できる。 ・乳歯の抜歯時の注意点が説明できる。 ・薬物の吸収から排泄にいたる動態を簡便に述べ理解し説明できる。 ・小児薬用量の算出法を理解し説明できる。 ・胎児への副作用と小児自身の副作用を理解し説明できる。 LS：講義・スライド・プリント (F1-1-(3),(4)) 必 -15-J-a, 総 -(X)-6-A, 総 -(X)-9-G	清水邦彦
6月24日(金) 3時間 9:00～11:50	小児の歯の外傷 乳歯ならびに永久歯の外傷	準備学習項目：小児の歯の外傷を理解する。 ・乳歯、永久歯の外傷の特徴が説明できる。 ・乳歯外傷が永久歯に及ぼす影響が説明できる。 ・乳歯・永久歯の歯冠、歯根破折の処置が説明できる。 ・乳歯・永久歯の脱臼に対しての処置が説明できる。 LS：講義・スライド・プリント (F2-(5)-1)) 各 -II-4-A~D	清水邦彦
7月1日(金) 3時間 9:00～11:50	咬合誘導 歯列・咬合の診察と分析 咬合誘導法  小児の顎関節症 小児歯科診療システム 医療面接 医療連携 口腔管理計画(診療計画) 1) 小児の口腔健康管理 2) 診査と診断 3) 集団を対象とする歯科保健	準備学習項目：小児期の咬合誘導と顎関節症を理解する。 ・永久歯列期の歯列長分析が理解できる。 ・咬合誘導の理念が理解して説明できる。 ・外科科咬合誘導の症例をとおしてその適応と術式を説明できる。 LS：講義・スライド・プリント  ・小児の顎関節症の分類と病態像ならびに治療法が説明できる。 ・小児歯科診療システムを診査項目ならびに齶蝕活動性、咀嚼機能等から口腔管理計画の立案の考え方を理解し説明できる。 ・1歳6ヶ月、3歳児歯科健康診査ならびに学校歯科保健を理解し説明できる。 LS: 講義・スライド・プリント (F2-(1)-4)) 各 -I-3-A~D, 各 -I-5-E, 各 -II-5-A~E	前田隆秀
7月8日(金) 3時間 9:00～11:50	心身障害児の歯科医療	準備学習項目：心身障害児の歯科医療について理解する。 ・心身障害児の種類とその病態を説明できる。 ・心身障害児の歯科治療の特徴が説明できる。 LS: 講義・スライド・プリント (F2-(6)-3) 総 -(VIII)-3-A~D	前田隆秀
7月15日(金) 3時間 9:00～11:50	小児歯科と遺伝疾患 遺伝性疾患の成り立ち 小児の口腔奇形と先天奇形症候群 1) 顔貌の異常と先天奇形 2) 口蓋裂と先天奇形 3) 口腔軟組織の異常と先天奇形 4) 歯の異常と先天奇形	準備学習項目：遺伝性疾患について理解する。 ・遺伝性疾患の成因を説明できる。 ・頭蓋顎顔面の形成異常を伴う先天奇形を供覧しその概念について考察し説明できる。 ・口腔軟組織の異常を伴う先天奇形を供覧しその概念について考察し説明できる。 ・歯の異常を伴う先天奇形を供覧しその概念について考察しせつめいできる。 LS：講義・スライド・プリント (F2-(5)-1) 各 -II-(1)-1-A~AB, 各 -IV-(1)-1-A, 各 -IV-(IV)-1-A~V	前田隆秀

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
7月22日(金) 3時間 9:00 ~ 11:50	小児歯科治療時に留意すべき小児疾患	<p>準備学習項目：小児歯科治療時に留意すべき疾患について理解する。</p> <p>全身疾患を有する患児の歯科治療</p> <p>1) 先天性心疾患を有する小児の歯科治療</p> <p>2) 免疫不全症を有する小児の歯科治療</p> <p>・感染性心内膜炎を併発しやすい先天性心疾患患児の歯科治療の重要性を理解し説明できる。</p> <p>・顆粒球減少症に代表される疾患を有する患児の歯科治療を理解し説明できる。</p> <p>3) 出血傾向を有する患児の歯科治療</p> <p>4) 易ショックを起こす患児の歯科治療</p> <p>・血友病、血小板減少性紫斑病などの出血傾向を有する患児の解説と観血処置時の注意を説明できる。</p> <p>・内分泌疾患を有し易ショック性が疑われる患児の解説と歯科治療を説明できる。</p> <p>LS：講義・スライド・プリント (F2-(5)-1) 総-(VIII)-6-A,B,C, 各 -II-(I)-3-A~AN, 各 -IV-(I)-6-A~AM</p>	前田隆秀